

平成29年度 美幌版総合戦略に係るH28事業実施結果報告

(各事業における実績額及び事業効果等)

基本戦略2

担当 G	No	① 対象事業の名称	② 事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標 (KPI)				④ 本事業前 の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的に) ※実績値が指標値を下回っている事業については その理由(原因)等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料:〇〇円」等の内訳を 記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値 の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				過年度	実績額	指標	指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果				事業の評価	外部有識者か らの意見	今後の方 針	今後の方針の理由
				後年度	予算額														
計画 担当	1	移住促進事業	①移住促進のPR:首都圏で開催される移住促進イベントの参加経費 ②「ちょっと暮らし」のための施設整備:空き家となっている教員住宅の改修及び必要な備品等の整備	H27年度	2,927,409	指標①	移住体験者	8	組	H29.3	2	8	28年1月に28年4月以降の申込み受付を行い、抽選の結果その時は5組の体験者が決まったが、情報の更新や移住サイトへ掲載し、更に北海道の「移住と仕事のマッチング事業」に参加し、移住体験者を迎えたなどにより、最終的に8組の体験者につながった。また、「移住と仕事のマッチング事業」を行った体験者1名が、28年3月に美幌町へ移住した。その他、28年10月に移住相談に来たご夫婦及び12月に来たご夫婦に、町内案内や相談、メールでのやり取りなどを行った結果、それぞれ28年11月、29年2月に移住した。	移住フェア参加等旅費:230,320円 消耗品費:37,443円 需用費(光熱水・燃料):126,418円 修繕費(移住体験住宅):249,480円 役員費(通信・手数料):37,591円 委託料:113,302円 使用料:25,320円 負担金(移住関係協議会費、移住フェア参加費):200,000円	【移住体験者】 愛知県1組、京都府1組 鹿児島県1組、宮城県1組、 神奈川県1組、 北海道深川市1組、 大阪府1組、沖縄県1組 ※参考【移住者】 大阪府1組(単身30代) 東京都1組(夫婦3,40代) 栃木県1組(夫婦30代)	指標値を達成し事業効果が あった	指標値を達成 し事業効果が あった	事業の継続	移住体験住宅の魅力を高めて更なる交流人口の増加を目指し、一方で仕事とマッチングさせた本気の移住者の獲得を目指す。
				H28年度	1,019,874	指標③													
				H29年度	970,000	指標①	移住体験者	8	組	H30.3									
計画 担当	4	政府関係機関の誘致	国が掲げる総合戦略の一つで、東京に集中している官公庁を地方へ移転させ、東京一極集中を是正し、リスクの分散を進めることを目的にしたもの。美幌町への誘致を推進する。	H27年度	0	指標①	政府関係機関誘致数	1	機関	H32.3	-	0	政府関係機関の移転要望については、27年度に行われた以降、国からの照会もない状況だが、美幌駐屯地の維持(増強含む)については陳情を続けており、現在のところ現状維持を保っている。			指標値を下 回ったもの事 業効果があっ た(見込める)	事業の継続	自衛隊関係機関を中心 に、陳情等を引き続き 行っていく。	
						指標②													
				H28年度	0	指標③													
				H29年度	0	指標①	政府関係機関誘致数	1	機関	H32.3									